

基本目標2 地域課題が解決へとつながる仕組みづくり

活動方針(1) 地域住民の課題や相談を包括的に受け止める体制整備

【重層的支援体制整備事業実施計画】

●現状と課題●

- ・困ったときに誰にも相談できない人が増えています。
- ・困ったときにどこに相談すればよいのかわからない人がいます。
- ・地域社会の支援ニーズが複雑化・複合化しています。

市民アンケートによると、普段の暮らしのなかで困ったことがあるときに誰かに相談したことがないと回答した人の割合は約35%と、前回調査から大幅に増加しており、その理由として「自分で解決したいから」「他人を巻き込みたくないから」という回答が多くありました。年齢を問わず、単身世帯などの少人数世帯が増えている現代社会では、地域から孤立し、身近に相談する人もなく、一人で悩みを抱え込み、相談や支援を受けられない状況に陥る人が増えている傾向がうかがえます。そのような人を地域の連携によって発見し、課題解決につなげる仕組みづくりが必要です。

みどり市では、市が行っている既存の相談支援や地域づくり支援の取り組みを活かし、子ども・障がい・高齢者・生活困窮といった分野別の相談支援体制では解決しきれないような「地域社会の複雑化・複合化した支援ニーズ」に対応する包括的な支援体制を構築するため、重層的支援体制整備事業に取り組んでいます。その一環として、令和4年度からは「福祉のなんでも相談」を実施しています。しかし、市民アンケートにおいて、困ったときに「どこへ相談すればよいのかわからない」という回答は、前回調査より6.9ポイント増加しており、相談窓口や相談機関の存在が市民に知られていないことが課題となっています。引き続き、市民に対する周知の強化が求められます。

住み慣れた地域で自分らしく自立して暮らし続けることができるように、支援が必要な人の孤立を防ぎ、包括的にケアする仕組みを構築する必要があります。

●市の役割●

No.	取り組み内容	担当部署
1	行政や社協、社会福祉法人の相談窓口の一覧を作成し、市のホームページや広報誌のほか、様々な機会を通じて市民に周知します。	社会福祉課
2	行政、社協、社会福祉法人の連携・協力体制を構築します。	社会福祉課／介護高齢課／こども課／健康管理課／学校教育課

●社協の役割●

No.	取り組み内容
1	社協が実施する各種相談窓口を広く市民に周知します。
2	積極的に地域に出向いて支援が必要な人の情報や地域の課題を収集して解決を図るほか、必要に応じて迅速に適切な支援機関につなぎます。
3	市の重層的支援会議に参加し、要支援者の情報共有と包括的な支援に協力します。
4	相談を受ける職員の資質向上に努めます。
5	心配ごと相談員のスキルアップを図るための支援をします。

※心配ごと相談…日常生活の中で抱える悩みごとや困りごとなどの相談に行政相談員、人権擁護委員、民生委員・児童委員などが応じ、助言や関係機関の紹介等、問題解決へ向けてサポートする事業。

●市民・地域の役割●

No.	取り組み内容
1	隣近所と関わりを持ち、悩みや困りごとを抱えている人がいたら、話を聴いてあげましょう。
2	悩みや困りごとは一人で抱え込まず、関係機関に相談しましょう。

●成果指標●

取り組み内容	役割	現状値（R5）	目標値（R11）
総合相談支援事業相談件数	市	5,684 件	6,700 件

※第3期実施状況調査(令和4年度実績値)による。

みどり市重層的支援体制整備事業について

みどり市における重層的支援体制整備事業全体のフローを下記の図のとおりとし、包括的な支援体制を整備して、地域の支え合いの仕組みづくりを推進します。

重層的支援体制整備事業の実施にあたり、法第106条の6に基づく支援会議と重層的支援会議によって構成されます。

